

いつまでもお元気で

100歳訪問

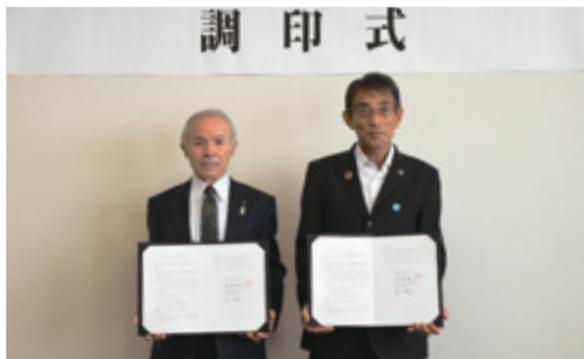


▲100歳を迎えられた松尾さん

100歳を迎えられる方と、市内最高齢の方に、市からお祝い状と記念品が贈られました。今年度市内で100歳を迎えた人は26人です。その中のお一人の松尾利光さん（山川町）は、9月28日、お祝い状を受け取られ、「元気に過ごすには、よく働いて、よく食べるのが一番だと思っています。テレビで野球や相撲を観るのを楽しみに過している」と笑顔で話されました。

連携しながら空き家対策を進める

空き家等古民家の活用に関する包括連携協定調印式



9月23日、一般社団法人福岡県古民家再生協会と市との空き家等古民家の活用に関する包括連携協定の調印式が行われました。この協定は、市と同協会が連携しながら、空き家等や古民家の適正な管理、活用を通じて地域の生活環境保全などを目的とするものです。同協会代表理事の井上静夫さんは「協会が培ってきたノウハウを共有していきたい」と話されました。

水辺をスイスイ!自然に触れる

カヌー教室



8月31日から9月28日にかけてカヌー教室が行われ、計4回の教室に、小学生などのべ68人が参加しました。初回は、瀬高B&G海洋センタープールで水辺の安全教室などを行い、以降は矢部川の瀬高橋下流で実際にカヌーを操縦しました。最初はなかなか思うように進めなかった児童も、回を追うごとにパドルの操作に慣れ、楽しむ姿が見られました。



活動の意義を学ぶ

民生委員児童委員協議会全員研修会



9月24日、山川市民センターで民生委員児童委員協議会全員研修会が行われました。研修では、「これからの民生委員児童委員活動について」と題し、九州大谷短期大学の中村秀一教授による講演が行われました。出席した民生委員児童委員のみならず、中村教授自身の経験に基づいた話に耳を傾け、民生委員児童委員制度の変遷や民生委員児童委員の役割、地域福祉の課題などについて学びました。



市政発展への尽力に感謝

自治功労者表彰式



10月9日、みやま市自治功労者表彰式が山川市民センターで開催されました。永年にわたり市政運営に功績があった方々21人と1団体を表彰しました。受賞者は次の方々です。
※（ ）内は在職年数です。
▼元市議会議員 坂口孝文さん（18年）、川口正宏さん（12年）
▼元行政区長 井本雄藏さん（22年）、古川芳昭さん（21年）、樺島正文さん（9年）、諸林豊喜さん（9年）、平木博文さん（8年・遺族表彰）
▼元民生児童委員 長岡理恵さん（計15年）、久保田喜美代さん（12年）、渡邊敏子さん（12年）、田中タカ子さん（12年）、東アヤ子さん（12年）、壇三徳さん（9年）、末吉恵子さん（9年）、牛島洋子さん（9年）、末次よし子さん（9年）、築地原和子さん（9年）、松尾修二さん（9年）、今福茂子さん（9年）、木下一徳さん（9年）、木下光雄さん（9年）
▼永年にわたり社会奉仕活動を続けた団体 みやま市葦の会（昭和49年11月発足以来、「青少年・女性・高齢者問題」を主軸に時代に即した学習・研修を実践され、地域の発展と青少年の健全育成に寄与されました）

防災力の強化につなげる

サンレイクゴルフ倶楽部と協定



10月12日、株式会社福岡サンレイクゴルフ倶楽部（高田町上楠田）と市との災害時におけるゴルフ場施設の利用に関する協定の締結式が行われました。この協定は、災害発生時に、ゴルフ場施設を緊急避難場所として利用し、地域の安全の確保を目的とするものです。市長は「さまざまな災害協定の締結など、官民協力による防災体制の構築を進め、災害に強いまちづくりに努めていきます」とあいさつしました。

市民の健康増進を図る

大塚製薬株式会社と包括連携協定締結



10月7日、大塚製薬株式会社と市との包括連携協定締結式が行われました。スポーツの振興、青少年の健全育成、健康づくりや食育の推進、災害支援などを目的としています。同社福岡支店の笠間康久支店長は、「スポーツ振興だけでなく、災害への備えの啓発活動や、物資の支援などを通して、市民の健康をさまざまな面からサポートしていきたい」と話されました。